

# 研究名：食道閉鎖症 Long gap 症例に対する Howard 法施行症例の治療成績の検討

## 1．研究の目的

食道閉鎖症で一次的吻合が困難な症例を Long gap 症例といいます。Long gap 症例に対して、施設や症例ごとに様々は治療法が検討されていますが、統一見解は得られていません。当院では主に、食道延長術として食道ブジを用いた Howard 法を施行しています。Howard 法はベッドサイドで施行可能な比較的簡便な手技として知られていますが、術後の治療成績に関する報告は少なく、詳細は明らかになっていません。今回、我々は当院での Howard 法施行症例の治療成績について検討 しますしました。

## 2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2003 年 7 月～2023 年 7 月までの 20 年間で当院においてそのうち食道閉鎖症 Long gap 症例と診断されて Howard 法を施行した方。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024 年 3 月 31 日

研究方法：対象患者さんの処置前後の画像検査（胸部 Xp）から食道間 gap を計測し、術中所見、術後早期・晩期合併症を評価し、処置の有効性を判断します。

## 3．研究に用いる情報の種類

病歴、検査データ、合併症の有無・内容、等

Howard 法施行前後の画像検査（胸部 Xp、造影検査）を用います。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

## 4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

## 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 齋藤 傑

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7431）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 齋藤 傑

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7431）